

5兆円)を突破したこと
を発表した。輸出額は28
・4%増の7620億ド
ル(87兆6300億円)、
輸入額は17・6%増の6
601億2000万ドル
(75兆9138億円)だ
った。

12月単月の貿易総額は
前年同月比20%増の13
98億1000万ドル
(1兆781億5000
万円)となり、11月に続

輸入数量の規制撤廃で 05年も大幅黒字に

棺は4ドル（1600円）と安く、中東地域にいたつてはわずかの5・6ドル（207・5円）で販売されている。

中国製繊維製品の国際市場における競争力は、中国の繊維産地の生産能力が飛躍的に伸びている一方で、国際市場において需要の飽和状態が続いていることが背景にあり、これが諸国との貿易摩擦を加速させる要因であると分析している。

国家発展 改革委員会

（国家改革）の輸出競争力強化を主眼とする繊維製品は主としてM（生産委託）製で、独自のブランドがないことが、廉価な「メド・イ・チャイナ」の地位低下を脱却できない理由であると指摘した。

中国紡績工業協会の杜洲（トウ）会長は、「06年は、すでに産業界ベシシシを推し進めることが重要だと説明している。

発展途上国でも問題に

05年は、中国と各国の貿易摩擦が激化した年だった。1年間で計18の国と地域が、中国に対し調査金額で21億ドル（241.5億円）に相当する63件の調査を行った。

内訳は、反ダンピング調査が51件で、調査金額が17億9000万ドル（2058億5000万円）。中国の世界貿易機関（WTO）加盟議定書に基づく「特定產品過渡性保護措置（特別保護措置）」に関する調査が7件で、同2億2000万ドル（253億円）、特別保護措置に関する調査が5件で、同9000万ドル（103億5000万円）。

このほか、米国は中国の7種類の產品に対して、調査金額で12億ドル（1380億円）に相当する337件の調査を行った。中国の繊維製品に対しては、ヨーロッパ連合（EU）やロシア、トルコなどが、調査または制限措置を242回行った。

国別にみると、北米・南米の国からは中国に対し、特別保護措置に関する調査と「威嚇」が激増した。

特別保護措置に関する7件の調査のうち、5件は、E.U.と米国は、対中貿易救済調査が依然として多く、関連金額も14億8000万ドル（1702.2億円）と、全体の金額の約7割を占めた。さらに、E.U.と米国は、反ダンピング規定の適用に關し、より嚴格である。

アジア、アフリカ、南米の發展途上国は、対中貿易救済調査が頻繁で、05年の1年間で救済調査案件と、調査全体の60%を占めた。

産業別にみると、輕工業、繊維産業、機械設備など、電力設備など、中国

然して反タヒンク調査が主流だ。中国は11年連続で世界で反タヒンク調査を最も多くとられた国となっている。特別保護措置に関する調査は、05年の下半期に、度目の集中期を迎えた。さらに先進国は、技術的な貿易措置と知識財産権保護措置を頻繁に使用した。一部の発展途上国も、輸入禁止令や、税関で価格を高く見積もるなどの「高等戦術」を使い、中国製品の輸入を制限した。

中国商務部は近く、二輪車製品の輸出に関する規則を發表する。これは二輪車メーカーが輸出業務に携わるための条件を設定すると、関連製品や主要部品も輸出の管理対象に加える方針。中国の05年の二輪車

額は約700万台、輸出は24億ドル（760億円）。輸出先は、アメリカ・地域にのほり、輸出台数は5年連続で世界第一位を保持している。しかし、中国の二輪車輸出は非常に無秩序な状態にあり、業界全体の平均利益率は1%程度に落ち込んでいる。

さらに、二輪車製品の輸出資格を持たない一部の企業が、エンジンや車体フレームを主要部品品を輸出することで、実質的に完成車輸出に近い業務を行っているケースもある。

過去最高に
中国商務部は、05年の中国の農産物輸出額が過去最高の265億ドル(3兆475億円)に達する見通しを明らかにした。

05年1～11月の中国の農産物輸出額は前年同期

80億2500万
 3000万(1759億
 5000万ドルで、前年
 同期より71・6%減少し
 た。

WTO(世界貿易機
 関)によると、04年の中
 国の農産物輸出は世界第
 5位だった。

輸出の主力はIT産業。家電製品は米

全体に占める割合は、前年から15.5ポイント上昇して約36.5%。機械・設備の輸入額は26.7%増の1,979億3,000万ドル(17兆1,788億円)、電器および電子製品は32.9%増の173億3,000万ドル(19兆8,168億円)だった。

ハイテク製品の伸びもめだった。輸出額は前年

大豆などの伸び率から、大豆などの伸び率、自動車などの伸び率、鋼材などの伸び率、自動車の伸びが減速した。自動車の輸入台数は前年比7.3%減の16万台。鋼材輸入量は11.9%減の258,223万トンだった。原油の輸入は3.3%増の1億3,000万トンだった。

国別でみると、最大の貿易相手国は依然として

前年比22.4%増の768億8,343億3,433万ドル(8兆8,343億3,433億円)で、輸入全体の伸び率を左右する5.8ポイント上回った。05年、韓国との貿易額は初めて1,000億ドル(11兆5,000億円)

アセア諸国からの輸入額は前年比19.1%増の750億ドル(8兆6,250億円)だった。

833億5000万ドル（純増の1000万ドル）に達した。また、対外輸出額では前年比0・7ポイント増の28・6％を占め、史上最高となった。

輸入・輸出ともに電気分野、コンピュータ分野がそれぞれ半分以上を占めた。

ハイチク製菓の輸入を主導したのは、三資企業と呼ばれる外資系企業で、85％近くを占めている。中でも、独企企業（外資100％）の比連（外資100％）の比連がますます増加している。また、ハイチク製菓業はアジア系中心の輸入先は欧米が中た。

比19・3％増の249億

株式会社湘南物流企画

小山敦也社長

中国ビジネスのきつかな
仕事のパートナー
が結婚して中国に帰っ
てしまった。

二、緒任事を組んで
いた内山さんが結婚。そ
の相手が、中国人留學生
の女性だった。結婚して
あとも供えてきて、向こ
うの西舞見せに行くか
ら一緒にかないか、と
誘われたんです。

(株)相模物流企画の小
敦也代表取締役が初め
に東京を訪れたのは20
0年の月だった。最
はヒンズのにもない
観光旅行分だった。
「高速道路で人が横
ついでいを見て驚き
ました。それに何しろ
られないくらい人が
る。さらに声がすく
きい。横で携帯電話を

声で掛けられた。こちらはその声で携帯電話を掛けられない。知り合いに長々中国貿易をやつてゐた人がいて話には聞いていた。本も「観光気分で」驚き「ビジネスの眼で」興味読んでゐる。しか「本当かなあと」思つてゐた。「ところが」本当で「しかも、荷物の荷物がまた」また。」「も」積るだけ積んで今にも崩れそうになつてゐるラックが多かつた。あおだから荷崩れ

窓を開けたまま。ゴミはもうちんちん、蚊やハエなど、虫も入ってきていて、ニールもひつてく。工座はそのままだから、出来上がったニール袋にはアレサスちゃんになったハエや蚊が模様みたいになっている。

実は、小山さんも仕事で中国の小さな製品の工場に使っていた。こ

を待つて何度か行くことになる。何度行くとちうに少しづつゴミの輪郭が見え始めた。もっとも、だからといって、すぐに確実になるほど中国のゴミは甘くない。

最初に考えのは携帯のストラップといった小物だった。自分使っていたが数量それほど多くなかった。思

仕事仲間と中国で。右から2人目が小山社長

「仕事を、観光旅行気分
ながら、目につく物流根
点になってしまふ。」

「まずええと思つた
のは、日本は当時だた
り前になつて二トロッ
クのウイング車（荷台の
扉が羽根のまゝに両端か
ら開く）が見たらなか
つたことです。物流では
かなり遅れているんだな
らう。」

「まずピールを薄い
板状にする。ローラから
出てきた、その板状のピ
ールを、たか風を送つ
て、次の工程に移す。日
本では、こういう場合
ゴミが熱帯浴びているピ
ールはつかないように
密閉した場で、製造す

「おまけに30%くらい不良品があり、頭を悩ませていた。」
この事を見て、何故不良品ができるのか納得がいったという。
「それ検査室は、うす暗く製品があまりよく見えない。そんなところで検査なんかできるわけがない」
もし、これをちゃんと
う。
「販売も考えなければならぬ。中国は量がそろわなければ売注ぎできないからだ。」
ただし、そうするためには単価の数値が必要になる。つまり見讀書しかし見讀書一つが大変なことになってしま

**急成長中の中国経済。最高の投資情報。
ビジネス情報専門誌の決定版**

格安航空券や格安ツアーを選ぶなら!!

大卒以上 27 歳以下 (旅行業務経験者は 35 歳以下)
男女数名 (身長・女 161cm 以上 男 172cm 以上)
高給待遇 履歴書を FAX もしくは郵送
送附し 090-7842-5438 担当まで

上野本店 (年中無休)
110-0005 東京都台東区上野 6-1-6
徒町グリーンハイツ 602 号
TEL: **03-3833-9823** (代表)
TEL: 03-5688-1853 FAX: 03-3833-9873

【新橋支店】 (年中無休)
〒105-0004 東京都港区新橋 4-
TEL: **03-5733-3858** (代
TEL: 03-3833-5171 FAX: 03-5733-
銀行振込: 三菱東京 UFJ 銀行

◆毎月1日発行、ブラケット判16ページ、
年間購読料12,000円（送料別途500円）

定期購読お申込表

貿易額 636億3000万ドル

2月の貿易額黒字 71億ドル減少

税関総額では先ごろ、06年2月における中国の貿易総額が前年同月比25・8%増の1058億5000万ドル(1兆1727億5000万円)に達したことを発表した。輸出額は同22・3%増の541億5000万ドル(6兆2272億5000万円)、輸入額は同29・6%増の517億ドル(5兆9455億)。

貿易黒字額は24億5000万ドル(2817億5000万円)で前月よりも71億1000万ドル(8176億5000万円)減少し、04年8月以来最も少なかった。

1~2月における中国の貿易総額は前年同期比26・3%増の2263億7000万ドル(2兆3711億8000万ドル)だった(2兆3257億)が、1~2月の一般貿易は、輸出の伸びが大幅に縮小した一方で、輸入の伸びは引き続き拡大した。加工貿易は依然として好調な伸びをみせている。

国別でみると、最大の

貿易相手国はEU（欧州連合）で、1～2月の貿易額は前年同期比19・4%増の352億7000万ドル（4兆560億5000万円）。第2位は米国で貿易額は25・3%増の332億9000万ドル（3兆823億5000万円）。第3位は日本で貿易額は11・7%増の273億9000万ドル（3兆149億8500万円）、第4位はASEAN（東南アジア諸国連合）で貿易額は28・2%増の212億8000万ドル（2兆4472億円）だった。

地域別に見ると、広東省・江蘇省・上海市に集中。1～2月における広東省の貿易総額は前年同期比28・4%増の636億3000万ドル（7兆3174億5000万円）で、貿易総額の28・1%を占めて全国トップ。江蘇省と上海市の貿

株式会社湘南物流企画
小山敦也社長

納期が過ぎても注文した製品は全く届く様子がない。あまりの無責任さには、おまりの無責任さに腹を立てた小山社長、忙しい中にもかかわらず中国に飛んだ。工場へついた小山社長を経営者はニコヤカな表情で迎えた。「一体どうなっているのか」と聞く小山社長を経営者は工場へ案内した。

工場では生産のためフル回転している。しかし、それは小山社長が注文したものではない。「うちが頼んだものはどうなっているのか」と当然聞くところ、その返事に、小山社長驚いてしまう。「今やっている製品のほうがロットが大きく儲かる仕事だ。あなたのは、

「『商品を作るのも、
日中の商習慣の違い
によって、
中国は小ロットの場合には受け
ないことも少なくない。
受けたとしても、大きな
ロットの仕事が入れば、
後回しにされてしまふ。
ビジネス信用・信頼より
も、今儲かるかどうか
なんです。中国は』」

仕事が入るようになってきたので、ようやく利益が出るようになったんです」

たな小山社長は、日中の商習慣の違いをマイナスイメージしてない。「わかってしまえば、かえって仕事やりやすいという面もあります。中国の場合ビジネスのやり方がシンフルなので、ず契約書を作ります。トイッやアメリカの進出企業はすくく分厚い仕様書を作りますよ」

日本では、信用・信頼が最も重要であるため、あまり具体的に具体的にとはつめない。

「中国での商習慣は、今の私にとってむしろプラスです。日本でも、役に立ちます」

委託生産でノウハウを
身につける



この後た
「私の方は納期がとう
に過ぎていてる」
抗議する小山社長に、
相手は相変わらずニヤヤ
カな顔で
「仕方がない。儲けの
大きい方が先になる」
つまり経営者にとって
納期よりも儲けの大きい
方が大切なのだ。経営者
の態度から、もう何を言

「今の私にとつてフラス」

売るのもこちらが決めること」というわけで、小山社長が、日中の商習慣の違いについて、こんな説明をする。

「日本の場合、小さなロットでちゃんと納期に納めるし、引き受ける。そうした積み重ねそれによって信用・信頼関係、またロットの大きい

慣の違いを体験しつつ、ウハウを身につけてゆく。

「利益が出るようになってからは3年くらい立つてからですね。うちの場

合日本で注文を取って、中国で委託生産しますから、日本での注文が増え、またロットの大きい

「単純なだけに、日本のように交渉にクレイジーがあります。日本なら、この程度で、とか、こんな感じで、とかまあ、ほとほとの値

小山社長にとって、中国は苦勞をとまなげられ、業務内容が川上へ拡がったということ、中国での商習慣の違いによる発見より、日本でのやり方を考え直し新しい取り組みができるきっかけともなった。

今や小山社長にとって中国は新しい「友」となっている。

2兆7000億ドルを目指す

先ごろ開かれた第10回
全国人民代表大会第4回
会議で貿易について「中
国は今後5年間、貿易の
発展を促進し、さらに規
模の拡大重視から質の向
上重視へと貿易成長モデ

10年までに貨物貿易、サービス貿易の総額をそれぞれ2兆3000億ドル、4000億ドルに拡大するとの方針を明らかにした。

それによれば中国は今

集約型製品の輸出を支援してゆく。

企業などに対しては労働、環境保護などに関する規則遵守を徹底させ、エネルギー消費が多く汚染を引き起こしやすい製

ナビゲート

貿易局長のナオキ
8月以降最小幅
に縮小したのに
対し輸入の伸び
は引き続き拡大
基調にある。輸
出縮小の原因の
一つは、人民元
は今年末までに人民
元は変動相場制の弾力
により5%まで上昇するの
ではないかと見られてい
る。そうならば、輸出力

ラの上とどう違つてゐるのかといへば、実は実質的には違はない。ただ切り上げは政策決定による政治的決断だが相場制は市場レートの動向によるもの

金であつた。本邦の地位を

ル賣いなどによつてオペレーションでコントロール出来る面があるために政府としてもハンドリングがしやすい面がある。

それも巨額の外資準備金があつたことである。



中国の税関に限らずお役所の役人は唯我独尊



委託生産でノウハウを
身につける

ナビゲート

また、輸入を積極的に拡大しつつ、輸出入の均衡を目指してゆく方針を示している。

それにともない新たにサービス貿易の分野では、建設工事請負、設計

コンサルタント、技術移転、保険、国際物流、教育・研修、情報技術、民族文化などの分野で輸出を拡大してゆくと言う。

そのため今後、外資のサービス業が中国に参入させやすくなる制度の整備をしてゆく。

ナビゲート

06年2月統計
の中国における
貿易黒字が04年
8月以降最少幅
に縮小したのに
対し輸入の伸び
は引き続き拡大
基調にある。輸
出縮小の原因の
一つは、人民元
切り上げに加え、管理交
動相場制の採用で、人民
元が実質3%の水準にまで
上昇していることが上
げられる。

実は今年末までに人民
元は変動相場制の弾力に
よってはなかと上昇するの
ではないかと見られていた
ところ。そうならず、輸出の

減少はこれに加速する可能性がある。

元の切り上げと相場制の上昇とで違つかどうかといへば、実は実質的には違わない。ただ切り上げは政策決定による政治的決断だが相場制は市場レートの動向によるもの

切り上げ、切り下げは決断がなかなか難しいが、相場制の場合は、ドル買ひなによるオペレーションでコントロール出来る面があるために政府としてもハンドリングがしやすい面がある。それも、巨額の外資準備金があればこそである。